

第15回 甘えと間主観性研究会 全国学術集会 東京大会

響き合う子育て 親育て

子どもを支援する 専門職として考えたいこと — 甘えと間主観性の視点 —

令和6年

9月15日(日)・16日(月/祝)

会場

武蔵野大学 有明キャンパス

3号館 3階大教室

〒135-8181 東京都江東区有明3丁目3-3

参加費

一般 3,500円 学生 1,000円

*ロバートソンフィルム上映会のみ参加の場合は 一般 1,000円 学生 500円

対象

子どもの支援について学んでいる学生

子どもに関わる専門職の方

*一部のプログラムは、参加者を限定したクローズド形式で行われます

*本学術集会は、日本言語聴覚士協会 生涯学習プログラム
ポイント取得の対象になります

定員

500名

*定員に達し次第、申込締切

主催：甘えと間主観性研究会

主管：第15回 甘えと間主観性研究会全国学術集会東京大会実行委員会

大会長：北 義子（武蔵野大学人間科学部人間科学科 教授）

9:00	開会挨拶	9/15 プログラム
9:10	教育講演 1 「心の響き合い子育て—愛着と甘えと間主観性—」 講師：澤田 敬（高知県カンガルーの会・小児科医）	
10:30	教育講演 2 「間主観性とは何か」 講師：小林 順子（国際医療福祉大学クリニック・臨床心理士・公認心理師）	
11:30	特別講演 1 「共に育つ 感じ 考え 行動する子どもたち」 講師：榎田 二三子（武蔵野大学 名誉教授（保育学））	
12:30	休憩	
13:30	ロバートソンフィルム上映会 JOHNの場合 ファシリテーター：松原 徹（城東こどもクリニック・小児科医）	ロバートソンフィルムとは？ 愛着理論を確立したボウルビィの弟子であるロバートソン夫妻によって1950年代にイギリスで愛着をテーマに撮影されたフィルムです。 今回は、1歳5ヶ月で2人目の赤ちゃん誕生のために母親と離れたジョンを上映します。フィルムに映し出されるジョンの行動や表情から気持ちを読み取り、彼の心にどんな変化が起こっているのか参加者の皆さまとディスカッションします。 子どもの心の問題に関わる方達は視聴必須の映像です。 ＊本上映会のみ参加も受け付けます
18:00	懇親会	

9:00	モーニングセミナー 「医療の中の子どもたち」 座長：北島 博之（新生児科医師・元大阪府立母子医療センター新生児科主任部長） 講師：関森 みゆき（武蔵野大学看護学部 教授）、小俣 智子（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 教授）	9/16 プログラム
10:30	特別講演 2 「社会的養護を必要とする子どもたち」 講師：永野 咲（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 准教授）	
11:30	特別講演 3 「難聴児療育にみる愛着と甘えと間主観性」 講師：北 義子（武蔵野大学人間科学部人間科学科 専攻科（言語聴覚士養成課程） 教授）	
12:30	休憩	
13:30	クローズドシンポジウム「療育(PT・OT・ST・心理)の現場から事例を通して甘えと間主観性を考える」 コーディネーター：鏡 重美（言語聴覚士 横浜市東部地域療育センター） 指定討論者：牧 真吉（日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 教授・精神科医）、澤田 敬（小児科医）	
17:00	閉会挨拶	

*クローズドシンポジウム（事例検討会）の参加資格は、専門職に従事する方、専門職を目指す専門課程学生・大学院生に限定させていただきます。参加される皆様には、プライバシー保護のため守秘義務の厳守をお願いいたします。

申込方法

右のQRコードより、必要事項を入力・参加費支払いの上、お申込みください。QRコードからのお申し込みが難しい場合には、事務局までご連絡ください。

アクセス

会場：武蔵野大学 有明キャンパス3号館（東京都江東区有明3-3-3）



お申込みはこちらから
(Peatixページに遷移します)



最寄り駅からのアクセス

- りんかい線 国際展示場駅より徒歩7分
- ゆりかもめ 東京ビッグサイト駅より徒歩6分
- 東京駅（丸の内南口）
1番乗場より都営バス（都05-2系統「東京ビッグサイト」行き）で約30分
「武蔵野大学前」下車すぐ
- 東京駅（八重洲南口）
10番乗場より都営バス（東16系統「東京ビッグサイト」行き）で約30分
「武蔵野大学前」下車すぐ

大会事務局・問い合わせ先

武蔵野大学 人間科学部 人間科学科 専攻科（言語聴覚士養成課程）〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

E-mail : new-must2024@googlegroups.com TEL&FAX : 042-468-3600